

エイム電子株式会社

# エコアクション21環境活動レポート

2019年10月 ~ 2020年9月



発行日2020年10月 23日

～目次～

■組織の概要	1
■対象範囲、レポートの対象期間及び発行日	1
■環境方針	2
■環境目標	3
■環境活動計画	4
■環境目標の実績	5
■取組結果とその評価、次年度の取組内容	6
■環境関連法規制の遵守状況	7
■代表者による全体評価と見直し	7

**AIM**  
AIM ELECTRONICS

# 1.組織の概要

## 1)事業所名及び代表者名

エイム電子株式会社 代表取締役 中山栄志

## 2)所在地

本 社 : 〒252-0327 神奈川県相模原市南区磯部1353  
R&Dセンター: 〒252-0327 神奈川県相模原市南区磯部1354-4  
物流センター: 〒252-0336 神奈川県相模原市南区当麻1107-20

## 3)環境管理者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者: 経理部長 松島広晃  
担 当 者 : EA21事務局 西田  
連 絡 先 : 電話 046-253-9881  
FAX 046-252-7572

## 4)事業の活動内容

認証・登録対象活動

ネットワーク用、AV用ケーブル及び周辺機器の製造・輸入販売

## 5)事業の規模

活動規模	単 位	H29年度	H30年度	R1年度
売上	百万円	1,091	1,212	1,181
従業員	人	71	72	73
床面積	m <sup>2</sup>	755	830	830

# 2.対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

## 1)認証・登録範囲

全組織、全活動、全従業員  
本社・R&Dセンター、物流センター(全社、全活動を含む)

## 2)レポートの対象期間及び発行日

期 間: 令和元年10月1日～令和2年9月30日

発行日: 令和2年10月23日

### 3.エイム電子環境方針

#### [理念]

当社は経営理念に「地球環境と社会に貢献する」を掲げ、地球環境問題への取り組みが企業経営における重要課題の一つであると認識し、地球環境に配慮した事業活動に積極的に取り組んで参ります。

#### [方針]

- 1) 事業活動の全域で省エネルギー、廃棄物削減、節水の推進に努めます。
- 2) 環境保全に配慮した製品の製造及び資材の購入に努めます。
- 3) 環境マネジメントシステムの継続的な維持向上に努めます。
- 4) 当社の活動に係わる環境関連法規、その他の要求事項を遵守します。
- 5) オフィス用品のグリーン購入を推進します。
- 6) 環境方針を全従業員へ周知させるとともに環境教育及び啓発に努めます。

平成28年10月1日  
エイム電子株式会社  
代表取締役  
中山栄志

## 4. 環境経営目標

項目		H30年度	R1年度		R2年度	R3年度
		実績 (基準値)	目標	実績値	目標	目標
二酸化炭素排出量削減(kg-CO2)		58,364	58,074	54,894	54,620	54,346
前年比削減率(%)		-0.9%	-0.5%	-5.9%	-0.5%	-0.5%
二酸化炭素排出量削減	本社電力(kwh)	42,722	42,509	42,013	41,803	41,594
	前年比削減率(%)	-	-0.5%	-1.7%	-0.5%	-0.5%
	物流C電力(kwh)	36,058	35,950	35,116	34,940	34,766
	前年比削減率(%)	-4.9%	-0.3%	-2.6%	-0.5%	-0.5%
	R&Dセンター電力(kwh)	4,927	8,128	11,726	11,491	11,319
	前年比削減率(%)	-	-	-	-2.0%	-1.5%
化石燃料	ガソリン燃費(km/l)	18.46	18.37	18.20	18.25	18.31
	前年比向上率(%)	2.4%	-0.5%	-1.4%	0.3%	0.3%
排水量削減(m <sup>3</sup> /人)		5.66	5.63	6.28	6.26	6.24
前年比削減率(%)		2.9%	-0.5%	11.0%	-0.3%	-0.3%
コピー紙購入量削減(kg)		796	788	843	801	793
前年比削減率(%)		-8.8%	-1.0%	5.9%	-5.0%	-1.0%
一般廃棄物排出量削減(kg)		4,569	4,154	4,508	4,463	4,418
前年比削減率(%)		29.0%	-9.1%	-1.3%	-1.0%	-1.0%
産業廃棄物リサイクル率/ (H28～)産業廃棄物の削減 産業廃棄物の適正管理		100%	適性管理	100%	適性管理	適性管理
環境に配慮した製品作り 及び資材の購入		RoHS2比率 32%	RoHS2比率 50%	RoHS2比率 48%	RoHS2比率 55%	RoHS2比率 60%
防災対策		実施	防災・災害後 対策強化	実施	防災・災害後 対策強化	防災・災害後 対策強化

※ 化学物質の使用無し。

※ CO2排出係数は「東京電力=0.455 東京ガス=0.398(kg-CO2/kWh)」を使用。

※ リサイクル率は重量計測で排出する産業廃棄物で計算します。(99%以上が該当)

※ 産廃の適性管理=産業廃棄物管理票交付、管理及び行政への報告、  
産業廃棄物委託契約書の締結、産業廃棄物排出量(リサイクル量)の把握

※ R&DセンターはH30年度の実績値が、2019/3～2019/9分の値となっている為  
R1年度の前年比削減率は非掲載としています。

※ 本社はH30年度途中に一部機能をR&Dセンターに移管している為、H30年度の  
前年比削減率は非掲載としています。

## 5.環境活動計画

### (1) 二酸化炭素排出量削減

#### -1 本社／R&Dセンター／物流センター電力削減

- ・クールビズの励行、卓上ファンの配布
- ・ウォームビズの励行、足温器の配布
- ・エアコンの定期清掃による効率アップ
- ・待機電力カットの強化
- ・省エネ啓蒙コラムをメール配信
- ・エアコン温度設定等の節電メッセージの設置
- ・エアコン消し忘れ防止タイマーの設定

#### -2 ガソリン燃費削減

- ・運転時の排気ガス削減方法を社内に告知

### (2) 排水量削減

- ・節水ポスターの見直し
- ・社内へ節水啓蒙のコラムをメール配信

### (3) コピー紙購入量削減

- ・裏紙利用の促進、ルール再確認
- ・社内書類のペーパーレス化推進

### (4) 一般廃棄物排出量削減

- ・一般ゴミの分別の徹底
- ・廃棄品の定期処理

### (5) 産業廃棄物の適正管理

- ・産業廃棄物の適正管理  
(産業廃棄物管理票交付、管理及び行政への報告  
産業廃棄物委託契約書の締結、産業廃棄物排出量(リサイクル量)の把握)

### (6) 環境に配慮した製品作り及び資材の購入

- ・顧客の要望を中心に、RoHS2指令への対応を推進
- ・RoHS2非対応、不明在庫品については対応品への入替を順次進める

### (7) 防災対策

- ・防災グッズの点検、充実化
- ・非常食、飲料水の点検、充実化
- ・避難訓練の実施

以上

## 環境目標の実績

今年度の環境保全活動が終了し、社長と環境管理責任者が環境への取組結果の評価を行った。  
評価結果は次の通りである。

No.	推進項目	単位	責任者	年度目標	年度実績	評価
1	二酸化炭素排出量削減	kgCO2	松島	58,074	54,894	○
1-①	二酸化炭素排出量削減 本社電力	kwh	落合	42,509	42,013	○
1-②	二酸化炭素排出量削減 倉庫電力	kwh	落合	35,950	35,116	○
1-③	二酸化炭素排出量削減 R&Dセンター電力	kwh	落合	8,128	11,726	×
1-④	二酸化炭素排出量削減 ガソリン燃費	km/ℓ	落合	18.37	18.20	×
2	排水量削減	m3/人	落合	5.63	6.28	×
3	コピー紙購入量削減	kg	小池	788	843	×
4	一般廃棄物排出量削減	kg	小池	4,154	4,508	×
5	産業廃棄物リサイクル率 産業廃棄物の削減/適正管理		松島	適正管理	リサイクル100%	○
6	環境に配慮した製品作り 及び資材の購入		松島	RoHS2比率 50%	RoHS2比率 48%	△
7	防災対策		大串真	防災・災害後 対策強化	実施	○

## 7. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

### 【電力使用量】

2019年9月の本社遮熱塗装や、クールビズ／ウォームビズの周知、定時後の不要照明消灯の推進等により、本社・物流センターでの使用量は微減。

また、R&Dセンターは前年使用量からの想定に季節変更を加味していなかった為、適切な目標値が設定できていなかった。今期の使用量を基に、来期以降の計画を検討する。

●来期はR&Dセンターでの省エネ施策を中心に検討／実施を進める。エアコンの設定温度等については、換気方法とあわせて見直す事で、電気使用量の削減に取り組む。

### 【ガソリン燃費】

新型コロナの影響による外出機会の削減に伴い、HV車が空いている状況が増えて使用率が伸びた(54%⇒57%)が、短距離での利用が増えたことにより、燃費は微減となった。

●社有車の使用予定が重なった際に、走行距離が多い方がHV車を使用する等、啓蒙だけでなく取り決めとして検討し、更なる燃費向上を図る

### 【排水量】

前年より排水量増加。新型コロナ感染予防の為に、入社時／帰社時の手洗いうがいの徹底を周知した事が主な要因と見られる。グリーンカーテンは節電への寄与に大きな効果が無い為、未実施。

●感染予防の為に、手洗いうがいの徹底は継続が必要だが、今一度、水の出しっぱなし防止等基本的な部分からの節水意識向上に取り組む。

### 【コピー紙購入量】

在宅勤務実施等に伴い、「稟議書」を始め、数種類の申請書をEメール添付運用とし、ペーパーレス化が進んだが全体量は7.4%増となってしまった。

裏紙利用や、余分な印刷をしない等の啓蒙活動の推進が不足していた事が一因として挙げられる。

●Docuworks導入による、承認ワークフロー申請の電子化や、FAXのPDF化等を進めると共に余分な印刷をしない様に啓蒙活動も行い、10,000枚以上の購入量削減を目指す。

### 【一般廃棄物排出量】

「ゴミ削減」「分別リサイクル」への社内意識向上と、売上高微減に伴い、廃棄物量も微減となった。

●分別リサイクルの周知徹底をする。

### 【産業廃棄物リサイクル率】

当社の産業廃棄物は再生可能品は総て分別し、リサイクルしている。

●今後も分別の徹底を続けます。

### 【環境に配慮した製品作り】

2019年7月のRoHS2指令の施行に伴い、対応製品への切替を順次実施。

●在庫品の内、48%がRoHS2対応へ切替済。

来期以降も継続して、RoHS2対応製品への切替を推進していく。

### 【防災対策】

計画通りに防災対策を進めることが出来た。防災グッズの棚卸、新規購入等も実施。

●有事に備え、更に防災対策の充実を図りたい。

○代表者の前期指摘事項に対する取組について

排水量削減への取り組み⇒グリーンカーテンは節電への効果が見込めない為に中止

燃費向上への取り組み⇒「エコドライブのすすめ」を省エネチームより配信

HVの使用率向上に貢献。来期以降も省エネチームでの施策を検討。

## 8.環境関連法規制の遵守状況

内 容	過去3年から現在までの結果
遵守状況の確認 及び評価結果 法律違反の有無	なし
訴訟の有無	なし

## 9.代表者による評価と見直し

### 環境目標の達成状況について

新型コロナ感染の予防に伴う対応(エアコンをつけながら換気等)があったにもかかわらず全体として電気使用量が大きくは増えなかった事は良い成果。

今期も継続して感染予防と環境への対応の両立が必要になるので、例えば適切な服装とエアコン設定の組み合わせ等、検討しながら取り組んでほしい。

### 来期への取り組みについて

- ・事業所、フロア毎のエアコン運用管理
- ・業務用の防寒着支給の検討
- ・従業員個人の、環境／省エネへの意識向上

環境方針・環境目標・環境活動計画および環境経営システムについて

取り組みの成果が着実に出ていることから、変更の必要性はないものと判断する。

2020年10月23日  
エイム電子株式会社  
代表取締役 中山栄志